



もちつき体験コーナーに多くの家族連れが挑戦しました

5月3日、東和道の駅林館で「おいしいもの市」(東和道の駅農林産物出荷組合主催)が開催され、大勢の人でにぎわいました。

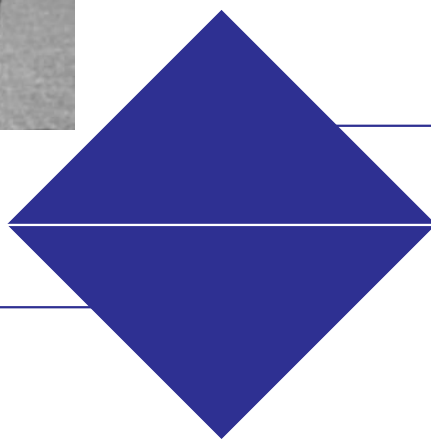
物販コーナーでは花や野菜などが並べられ、体験コーナーでは、もちつきや採れたての炭火焼きなどが無料で振る舞われました。会場には食欲をそそる香りが広がり、用意した草もちやしいたけは、瞬く間に無くなりました。

新鮮な地場産品を生かしたイベントに、訪れた人たちは満足して帰りました。

新鮮な春の味覚に大満足

東和道の駅でおいしいもの市開催

会場ではおいしい草もちが振る舞われました



木々あふれる公園へ期待を込めて

寺澤さんが桜と梅の木53本を寄贈



公園は桜と梅の木できれいに整備されました

4月28日、寺澤豊志さん(豊里町仲町)が、桜の木43本と梅の木10本を梅ノ木グリーンパーク(迫町佐沼)へ寄贈しました。

寺澤さんは「登米市誕生のお祝いと思い寄贈させていただけました。日ごろ、市内の公園には木が少ないと感じています。行政に頼るだけでなく、市民の皆さんで公園に記念樹などを植えて、市民が中心となった公園造りのきっかけになればうれしいです。市には、東京都などの先進地事例を参考にした美しい公園造りを進めてもらいたいですね」と寄贈のいきさつや今後の期待を語ってくれました。

美しい緑の贈り物があり、ありがとうございました。

栗駒山をバックに「木々あふれる公園を期待したいですね」と語る寺澤さん



スマトラ沖地震の復興支援に

ウジエスーパーが店頭募金を寄託



ウジエスーパー吉田取締役から目録を受け取る布施市長

5月12日、ウジエスーパーの吉田芳弘取締役総務部長が市役所を訪れ、昨年12月、20万人を超す死者・行方不明者を出したスマトラ沖地震の現地復興に役立ててもらおうと、日本赤十字社宮城県支部に店頭募金を寄託しました。

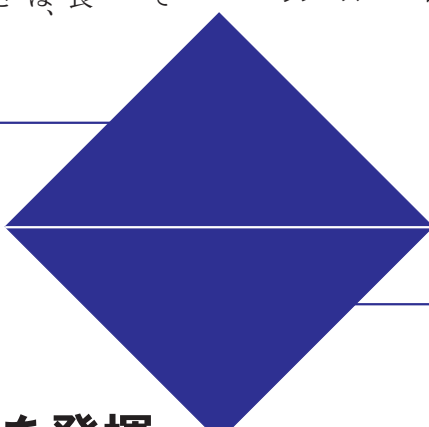
募金は県内33店舗で約1カ月間実施したところ、買い物客やウジエスーパー本部などから、総額21万6639円になりました。

吉田取締役は「新潟県中越地震のときも店頭募金を行い、お客様からたくさんのお善意をいただきました。今後も皆さ

んのお役に立てる活動をしていきます」と語りました。

目録を受け取った布施市長（日赤県支部登米市地区長）は「身近な店頭では、そのときしたいと思うことが素直にできる。また、寄付をするに従業員から「ありがとうございます」と声をかけられ、自分がしたことに喜びを感じる。募金は大切にお預かりします」と話しました。

集まった募金は義援金として、日本赤十字社を通じて、現地の復興支援などに役立てられます。



日ごろの練習成果を発揮

車椅子ゲートボール大会で3位入賞

5月7日に開催された第14回一関市長杯争奪車椅子ゲートボール東北大会で、宮城県脊髄損傷者協会ゲートボールクラブ（代表杉澤正記さん・米山町千貫）の皆さんが、日ごろの練習成果を発揮し見事3位入賞を果たしました。

クラブ員の構成は、市内はもとより栗原市などの各市町村から集まり活動している約30人の皆さんで、米山町の勤労者体育館で毎週火曜日（午前9時から午後4時）に練習しています。クラブ員の皆さんは、ゲートボール審判員の資格を持っているベテラン揃



これまでの栄光を手



「せえの、それ！」通過してちょうだい

いで、年間を通して東北6県の至るところの大会に参加し好成績を残しています。

脊髄損傷者の生活における情報交換もしていますので、ゲートボールをしない方でも代表の杉澤さん（0220（55）1063）までご連絡ください。